

FDG-PET/CT 検査についての説明書（保険診療・自費診療受診者用）

医療法人慈風会 厚地記念クリニック

I. FDG-PET/CT 検査について

1. 検査の方法

この検査は、フッ素-18 (¹⁸F) という放射性同位元素で標識されたフルオロデオキシグルコース (FDG) の 150~300MBq を注射し、一時間の安静後約 20 分間全身の断層画像と CT 画像を撮影します。検査は撮影中に安静に寝ているだけで終了します。

2. 注意事項

- ① 検査前 6 時間は絶食して下さい。
- ② 注射から撮影開始まで安静回復室のベッドで、目を閉じて安静にして下さい。
- ③ 撮影に呼ばれたら、トイレで排尿して下さい
- ④ 撮影中は台の上で動かないようにして下さい。

3. 検査の安全性と危険性

当院で使用する FDG は、日本核医学会「院内製造された FDG を用いて PET 検査をおこなうためのガイドライン」に準拠し、住友重機製サイクロトロン MINITrace と住友重機械製 FDG 合成装置 F100 (薬事承認番号 21400BZZ00094000) を用いて院内施設で使用当日に合成した後、品質試験に合格したものを用います。

また、PET/CT 撮影は、日本核医学会「FDG PET, PET/CT 診療ガイドライン」に基づき検査しています。

放射線被ばくはできるだけ少なくするのが原則的な考え方ですが、患者さんが受ける利益（病気の正確な診断や最適な治療法を選択できるなどの利益）が、放射線の被ばくによる害を上回るとの医師の判断のもと、検査を行っています。ガイドラインに準じて線量の低減に努めており FDG 線量は約 3~6mSv (ミリシーベルト)、CT 撮像は通常 5mSv 程度、最大 10mSv です。この程度の被ばく線量では放射線障害は起こりません。がんや白血病のリスクもないと言えますので、安心してください。

4. 検査の適応

保険診療では、悪性腫瘍などの適応疾患があり、かつその条件も厳密に決められています。この条件に合わない時は、検査代が自己負担となる場合がありますので事前にご了解お願いします。

II. 同意について

上記の説明を受けた後、充分納得した上で、検査を受けることに同意してください。

院長 陣之内 正史